

校長だより 令和3年12月17日

島根県立大東高等学校  
校長 田根 衛

その64

～ 野生動物が出没しています ～

おりべちゃん



↑ どう  
どう川

←イノシシ  
の道

【1】学校の後ろを流れる小川は堂々（どうどう）川といひます。この堂々川と体育館の間の土手は草が生い茂っていたのですが、ある日、この草地に獣道ができており、あちこち掘り返されていました。きっとイノシシの仕業でしょう。川に降りた形跡もありました。獣道になっているということは、複数頭出沒したか、何度もやってきたかのいずれかだろうと思ひます。

また、10日（金）の朝には第1体育館と第2体育館の間のところにサルが3匹いました。親子のサルと思ひれます。治山ダムがある山へ入っていきました。同じ日の昼ごろ、大東小学校の近くでサル2匹が道路脇から家と家の間にさっと入っていくのを車の中から目撃しました。一瞬の出来事でした。山と里との境界線がなくなっているようです。

【2】堂々川の名前の由来はよくわかりませんが、谷川ですから急流です。普段は水量が少ないのですが夏の大雨のときは川幅が狭いため水位がどんどん上がり濁流の勢いが怖いくらいでした。「どうどう」というのは水の流れを表現したのだろうか、と思つたものです。

2021年も残すところあとわずかとなりました。コロナ禍も2年が過ぎ、マスク着用はすっかり定着しました。成長期の高校生の顔は1年間で随分変わります。生徒たちが互いの顔を確認する機会は部活動や体育の授業のときくらいになっています。

オミクロン株が蔓延しないことを、新型コロナ感染症が収束することを願っています。



3匹のサルの出沒現場です。

第2体育館（工事中）と第1体育館の間



↑黄色はユリオプス・デージー